

## 長野冬季五輪 聖火リレー

(株) 榎村金沢支店 塚田さん 激走!!



2月7日に開幕する長野冬季五輪の国内聖火リレー「西日本・日本海ルート」は1月20日石川県内を通り、(株)榎村金沢支店の塚田英治さんが、第5区間=トヨタオート(扇が丘)前~和食レストラン天狗有松店前の1.1キロで聖火ランナーという大役を務められました。

石川県の12人のランナーの内、一般枠は6名で、昨年、当選の通知が来たときには、「まさかあたるとは、私でいいのかな」と思われたそうです。トライアスロン、スキー、早朝ソフト、ゴルフと何でもござれのスポーツマンの塚田さんですが、心配していたのは悪天候。この日は朝からの雪で、出発前には帽子を用意していましたが、直前になり雪がやみ、トーチの炎の心配もなく、走ることが出来ました。

なによりも嬉しかったのは、沿道の人々に交じた得意先のご主人達からの応援でした。実は塚田さんのお仕事は、カメラやフィルムの営業で、20日は集金日。事情を話して集金日をずらしてもらいま

したが、まさか何人も撮影に来てくれるとは思わなかったそうです。

翌日は休んだ分を取りかえすべく、いつもの倍、働かれたそうですが、「どうして教えてくれなかったのか」というお叱りや、記念のトーチをしばらく店頭飾らせてほしいとか、反響も大きかったようです。

「石川県に12本しかない、このトーチは家宝にします。そして伴走の人たちと一緒に走ったこと、皆さんからの声援は、一生の思い出です」と語っておられました。



## 事務局だより

- 11月4日 理事会  
 ①30周年特別委員会より、活性化に向けて中間報告  
 ②労務委員会より、アンケート調査実施について  
 ③建設委員会より、団地内一斉清掃と不燃物有料回収について  
 ④厚生委員会より、行事結果と予定について
- 11月7日 企画・事業委員会 正副委員長会  
 ①カーリース事業について
- 11月10日 情報物流委員会 正副委員長会  
 ①今後の推進方法について
- 11月11日 30周年特別委員会  
 ①今後の運営について
- 11月12日 広報委員会  
 ①次号について
- 11月13日 中堅幹部社員研修会(3回目)
- 11月18日 短時間労働者雇用管理改善等事業推進委員会  
 ①研修会の開催について
- 11月20日 団地一斉清掃

- 11月20日 情報物流委員会  
 ①来年度のパソコン教室実施計画について  
 ②パソコンの活用方法について
- 11月26日 不燃物有料回収
- 12月3日 財務金融委員会  
 ①運転資金転貸について
- 12月4日 理事会  
 ①財務金融委員会より、運転資金の転貸について  
 ②総務委員会より、新年互礼会について  
 ③労務委員会より、合同企業説明会について  
 ④厚生委員会より、行事予定について
- 12月4日 労務委員会  
 ①新入社員行事について
- 12月10日 情報物流委員会  
 ①来年度の事業計画について
- 12月11日 広報委員会  
 ①次号について
- 12月16日 (仮称) 変革実行委員会  
 ①今後の進め方の意志統一について  
 ②具体的な事業の立ち上げ方について
- 12月17日 労務管理セミナー  
 ①「パートタイム労働の展望と課題」

# 金問屋センターニュース

1998.1

No. 70

協同組合 金沢問屋センター 金沢市問屋町2丁目61番地 ☎237-8585 ●発行者/宗廣満夫



加賀友禅作家 梶山 伸 作

## 激動の未来へ向けて

(協) 金沢問屋センター  
 理事長 宗廣満夫

新年、明けましておめでとうございます。

昨年の我が国経済は、堅調な民間設備投資があったものの、公共投資の減少、そして、なによりも、消費税率引き上げなど国民負担が上乗せされた影響から、個人消費が不振を極め、さらに日本を代表する銀行・証券会社・生命保険会社の大手金融機関や建設会社の相次ぐ経営の破綻から、株価低迷を招いたため、ただでさえ冷え込んでいる消費者心理に一層の拍車がかかり、一段と悪化してきました。

平成9年度補正予算による2兆円の特別減税で、消費の活性化が期待できるものの単年度の実施となるため、景気刺激効果が限定的なものとなる可能性があり、景気低迷の長期化が懸念されます。

こうした厳しい環境の中、当組合は10月に完成30周年を迎えましたが、物故組合員追悼法要、記念式典と、一連の諸行事をとどこおりなく終わらすことができ、改めて、組合員の皆様に、厚くお礼を申し上げます。

来る21世紀を見据えて、卸売業と金沢問屋センターの将来像を検討し、方向づけを行うために設置した30周年特別委員会では、事業の自己変革を行い、社会における存在意義を確立し、豊かになることを組合の根本的共通点として捕え直すために、組合活動の大きな方向転換が必要であると、委員長である富木副理事長より、記念式典の席上で中間報告の発表を行いました。

その後、委員会を発展的に解消し、12月に設置した、変革実行委員会において、本年は、規制緩和に伴う流通経路の短縮などによる流通構造の激変に対応し、共同事業の活性化を図ってまいります。

組合活動の比重を従来の全体事業から業態転換など企業変革の支援に移すことなどを視野に入れ、各企業が望んでいる活性化策を分野毎に具体的な検討を行い、流通業の置かれている厳しい環境に対処してまいりますので、組合員各位の絶大なるご協力をお願い申し上げる次第であります。

景気回復を願い、各企業のご繁栄と皆様方のご健勝を祈念し、年頭のご挨拶と致します。



# '98 新年互礼会

恒例、協同組合金沢問屋センターの新年互礼会は1月5日午後2時より金沢流通会館パルスにおいて、来賓、組合員約250名が参加して行われた。

国歌斉唱に引き続き、宗廣理事長から挨拶があった。次いで、奥田衆議院議員、宮商工会議所会頭、沓掛参議院議員、谷本県知事、山出市長より祝辞を賜り、宇野県議会副議長の発声の下に乾杯を行い祝宴に移った。

盛宴の中、枝廣県商工労働部長の音頭で万歳三唱し、本年も盛況の内に終了した。



# 年 男 大いに語る



## 時代の風

丸西食品工業株式会社  
常務取締役 西谷 隆

あけましておめでとうございます。  
西暦1998年を迎え、いよいよ20世紀もあと3年となりました。私は1962年生まれで今年で36歳になります。ここ数年は経済・環境・科学技術ほか社会を構成するさまざまな状況が大きく変化し、良くも悪くもその中で我々が生活し、会社が存在しています。マクロ的に見ても18世紀、19世紀と明らかに違う20世紀があり、もうすぐ21世紀になろうとしています。

いろいろなメディアで飛び交う「時代の風(波)」はこのような社会の変化がそれぞれの時代でどのように吹いているかを意味しているのではないのでしょうか。自然界にもそよ風や台風もあれば、暖かい南風や冷たい北風、まっすぐに吹き抜ける風や竜巻のような渦を巻く風など千差万別の風が吹いています。それぞれの時代で吹く風にも風の強さ・方向・質が一つ一つ違い、その地形によっても与える影響は大きく違うのではないのでしょうか。

私たち経営者にとって一番大きな役割は何でしょうか。会社を正しい方向に発展させる舵取り役ではないのでしょうか。その舵取り役にとって必要とされる能力のひとつに、その時代の風を読み取り、それが社会にどう影響していくかを予測する天気予報の気象予報士のような能力が必要なのではないかと思えます。決して追い風の商売だけを捜し歩く必要はありません。今後やってくる冷たい向かい風の準備をするためです。決して日本全体や世界という大きな風の流れだけを見るのでは不十分です。地域予報や場合によっては局地予報が最も重要な時があります。

昨今の天気予報は大量のデータをスーパーコンピュータによって処理し、そこから得られたデータを気象庁の予報官や民間の気象予報士によって最終的に判断され公表されています。また、公表される内

容も昔のような高気圧・低気圧の記号と等圧線だけの天気図と簡単な天気予報が新聞、テレビ、ラジオで流されるような予報はほとんど影を潜め、気象、気温、降水確率、洗濯指数から花粉情報まで生活者が必要とするお天気に関する大量の情報がタイムリーにかつグラフィカルに多くのメディアから流されるようになってきました。このような時代の変化は気象庁の力よりも民間による力が大きいのではないのでしょうか。

今日の我々の会社や問屋センターを取り巻く環境は向い風の中にいるのかもしれない。

しかし、その中で働く社員、取引先、お客様にとっては一日一日の生活があり、立ち止まることはできません。我々がその舵取りの質を向上させない限り、向い風の中、未来に向かって豊かで健康的な生活を営むのは難しいのではないのでしょうか。

21世紀を目前にして、舵取り役の質の向上としてひとつ提案があります。金沢問屋センターという協同組合の特性を生かし、この天気予報(情報センター)を共同事業として行ってみてはどうでしょうか。もちろん流通サービス、地域経済、地域文化などの受発信を主たる目的とし、生協的なオンライン受注から公開できる各種の情報の共有化も含めたマルチメディアコミュニケーションセンターです。そして、皆さん一人一人が21世紀の気象予報士です。



## 平成10年の経済見通し



(株)北國銀行問屋町支店  
支店長 辻野 彰

平成10年の新春を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年(97年)のわが国経済は、個人消費と民間住宅投資の低迷を主因に停滞色を強め、実質GDP成長率は0.3%と3年振りのゼロ%台成長に陥り、調整局面入りを余儀なくされました。成長率に対する内需・外需の寄与度をみますと、円安を背景にした堅調な輸出(外需)が、内需の不振をかううじてカバーした形になりました。内需低迷の主因は8兆円強に及ぶ国民負担増であり、消費税率引上げ(4.1兆円)、特別減税打ち切り(2兆円)、医療制度改革・健康保険料引上げ(2兆円)に加え公共事業の抑制(2兆円)を加えると、総額10兆円強、GDPとの対比では2.0%ものデフレ圧力となったのであります。また、前年度に発生した消費税引上げ前の駆け込み需要の反動減の消費に及ぼす影響が予想以上に大きく、さらに金融機関・証券会社の経営破綻が相次ぎ、金融システム不安が増幅したため、企業マインド・消費マインドが冷え込んだことが景気の低迷に拍車をかけた1年でありました。

さて、今年(98年)の経済情勢を展望いたしますと、国内では現在議論されております政策面からの景気刺激策については、財政再建を優先する政府のスタンスからみて、その景気押し上げ効果は限定的であると考えられ、わが国の実質GDP成長率は1.2%と引き続き低成長にとどまる可能性が高いと思われま

一方、海外では、米国はバブル崩壊の不安があるとか、いくつかの問題点が指摘されていますが、経済の基礎的条件は依然として強く、徐々にスローダウンしてはいくものの、98年も底堅い成長を続けると思われま

次に国内の経済を需要項目別にみていきますと、**(個人消費)**

個人消費は所得税減税の実施による消費押し上げ効果は限定的であると思われ、企業収益の鈍化を背景に企業が人件費抑制姿勢を強め、家計が将来の取

入増に期待を抱きにくい状況がさらに続くと思われ、消費の回復力は弱いと考えられます。

### (住宅投資)

住宅投資については前年の消費税引上げ前の駆け込み需要の反動減が剥落しても、当面、金利の先高感が生じにくいなかにあつては、引き続き低調に推移する公算が大きいと思われま

### (設備投資)

設備投資については、企業収益の見通しや、商業地価に下げ止まり感がみられないなかで、勢いを取り戻す可能性は低いと思われま

### (公共投資)

公共投資については今年も財政支出削減は一層押し進められる事になりますが、民間需要に力強さが欠けることから、財政構造改革路線が一部修正され、補正予算の上積み

### (経常収支)

経常収支については、円安進行の一段落に、アジア通貨下落の影響が加わるため、輸出の鈍化、輸入の増勢が予想され、経常収支黒字幅の拡大テンポはペースダウンするもの12.8兆円の黒字が見込まれま

### (為替相場)

為替相場のポイントはまず日本経済の動向でありま

題化される可能性もあり、円安傾向から、一転してドル安傾向となることも考えられます。

以上総合してみますと、97年夏場以降消費低迷を引き金にして、減速の度合いを強めているわが国経済は、98年に入っても、景気押し上げ材料が少ない事に加え、バランスシート調整など構造的調整圧力が依然残るため回復感

このように98年度の経済環境は決して楽観出来る状況ではありませんが、組合の皆様方におかれましては、これまで蓄積してきた他にない独自のノウハウを基に、従来以上に長期的展望に立った経営を行われ、来るべき21世紀へ向けて磐石の足場固めをなされんことを祈っております。

年頭にあたり皆様方の益々のご繁栄とご健勝をこころよりお祈り申し上げます。

	GDP	個人消費	住宅投資	設備投資	公共投資	経常収支	為替相場(平均)
9年度見込み	0.3%	△0.3%	△17.2%	3.0%	△6.2%	12.2兆円	121.3円
10年度予想	1.2%	1.9%	0.7%	2.8%	△5.5%	12.8兆円	120.9円

9年実績見通し 10年予測(15機関平均)

## 初市風景

金沢問屋センター繊維同業会(山田治作会長)吉例の初市は1月6、7日行われた。

例年に比べて客足が遅く、全体的には厳しい出足となったようである。消費低迷に加え、昨年末は暖かい日が多く、アパレルの重衣料の売れ行きも今ひとつだったようである。厳しい一年になりそうだが、組合員一丸となって乗り切りたい。

